

関連項目：教育活動プラン④

異学年交流による仲間作りを通して主体性を育てる

目的

本校は各学年単学級であり、6年間人間関係が固定化されてしまう傾向にあり、主体性を発揮したり個性を生かしたりする場をいかに工夫するかが課題でした。そこで上学年にリーダーシップを発揮できる機会をもたせたり、広く人とつながる喜びを味わわせたりして、温かい仲間作りを推進したいと考え、異学年交流活動を実施しました。

内容

● スマイル班編成の工夫

6年生が責任ある立場に立って行動する機会として、6年生一人一人がリーダーとなれるようスマイル班と名付けた班を6年児童数と同じ数の36班編成し、他学年の児童を加えて一班5～6名とした。さらに、36班を赤、白の2つに分け、運動会においては赤・白対抗の競技を行った。応援合戦から始まり、各種競技での応援等、今までにない盛り上がりを見ることができた。



班の結成 自己紹介



運動会 赤白対抗得点一覧



運動会 応援合戦

● スマイル班の常時活動

全校集会の内月1回をスマイル班活動とし、遊びやゲームを行う。リーダーはあらかじめ何をするかを決めたり、道具等の準備・確保をしたりすることが必要である。6年生は以下のことを大切にしている。

- ・班のみんなの話（意見）を聞くこと。
- ・みんなが楽しめる、またはできるようになる活動をする。



全校集会での活動



● 特別活動の様々な場でのスマイル班の活用

(1) なかよし集会（人権集会）

集会の中にスマイル班タイムを設定し、各学年の「なかよし宣言」を発表した後、班で「人間知恵の輪」をはじめ、「ハンカチ落とし」などのゲームを楽しみ、人とつながることの良さを体感した。



人間知恵の輪やゲーム



(2) 班対抗 長なわとび

体力づくりもかねて、2班で一チームを作り、長縄跳びの練習を1月より週2回、2時間目終了後の休み時間に連続で何回跳べるかを競っている。

(3) もちつき大会

地域と学校合同のもちつき大会では、スマイル班でもちつきを楽しんだ。また待ち時間には、班ごとに教室でカルタ、あやとり、福笑い、折り紙などの昔遊びを行った。



楽しくもちつき、ゲーム



成果

6年生は自分自身を見つめると同時に4・5年生がサポートしていることにも気付き、班の絆を感じていることが日記等に表現されていました。低学年は上級生をお手本に、よいところを自分に生かそうとしたり、班の上級生を自慢に思ったりしています。遊びや体力作りを中心とした異学年の交流を通して、自主性や他を思いやる心情が芽生えています。